

大邱「在日合同研究会」、そして、未知との遭遇

(『むくげ通信』326号、2024年9月29日)

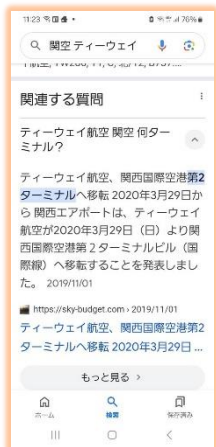
飛田雄一



8月22日、関空から大邱への直行便に乗った。Twayは初めてだ。関空のターミナル、第1か第2か?、スマホで調べたら第2とある。行った。が、なぜ

か第1だった。あせったが間に合った。ひどい。

23日と24日、大邱で第11回「在日」日韓合同研究会が開かれた。2003年に始まった研究会で、在日朝鮮人史運動史研究会の関東部会、関西部会、それに韓国の韓日民族問題学会が2年に一度持ち回りで開催している。これまでの記録は以下のとおり。



- 1 2003年、滋賀県、滋賀県立大学、朴慶植文庫見学、フィールドワーク(FW)・ウトロ
- 2 2005年、韓国(釜山)、海雲台のB&BHotelで合同研究会。FW、東来温泉周辺の植民地期遺跡
- 3 2007年、東京
- 4 2009年、神戸
- 5 2011年、韓国 SEOUL 研究会(光云大学)、FW、仁川
- 6 2013年、東京研究会、FW、川崎
- 7 2015年、神戸研究会、FW、高槻
- 8 2017年、韓国(群山)、YIDANG 美術館で合同研究会。FW、東国寺、近代歴史博物館、発山里遺跡と旧日本人地主邸宅など
- 9 2019年、東京研究会、FW、相模湖
- 10 2022年、ZOOM 研究会(関西部会担当)



研究会のプログラムは、以下のとおり。いずれも興味深い発表およびコメントだった。私は開会のあいさつのみ。堀内さんは、金珍雄レポートへの「討論者」を担当した。(FW 解説も含めて、A4、188頁の資料集が発行された。後援は、東北アジア歴史財産および慶北大学)



研究会の堀内さん(中央左)ら/夕食、立派な魚、一人一匹!



開会挨拶/金慶南(慶北大学教授、韓日民族学会会長)、樋口雄一(在日朝鮮人史運動史研究会関東部会代表)、飛田雄一(同関西部会代表)

<発表>

- ① 戦時中の「首都港・慶尚南道内船協会」について 福井譲(国際医療福祉大)、討論者、洪淳權(東亜大)
 - ② 在大阪朝鮮人コミュニティの歴史と記録—在大阪・在日コリアンの歴史と記録:1世たちの居住、ジェンダー、信仰、強制連行、そして平和 池映任(大邱大学)、討論者・木澤裕子(在日朝鮮人史運動史研究会関東部会)
 - ③ 1920年代における在日本朝鮮人社会主義者の労働運動構想と展開(1920年代における在日本朝鮮人社会主義者の労働運動構想と展開)、金珍雄(成均館大学)、討論者:堀内稔
 - ④ 大阪女性同盟の活動と女性群像 金栄(関東部会)、討論者:尹明淑(ジェンダー+女性研究所)
 - ⑤ 朴慶植による関東大震災時の朝鮮人虐殺研究をめぐって) 韓光勳(関西部会、大阪公立大)、討論者 金仁徳(青巖大)
 - ⑥ 韓日會談 再照明 金昌録(慶北大)、討論者:吉澤文寿(関東部会、新潟国際情報大)
- 最後のプログラムでは、金廣烈(光云大)の司会で総合討論が行われた。充実した研究会だった。



翌日のフィールドワークは、炎天下よく歩きたいへんだったが、充実したものだった。



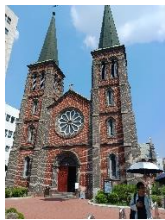
大邱近代歴史館/中華小学校



日本軍慰安婦記念館にあった『母・従軍慰安婦』(鹿嶋節子訳、センター出版部)の原本/「徐炳五」館/大邱YMCA前の掲示、新幹会大邱支部

- ・ 大邱近代歴史館/2011年1月開館。建物は1932年に建設された朝鮮殖産銀行大邱支店で、周辺は朝鮮後期から近代まで大邱の中心地。さすがに殖産銀行で、大きな金庫が印象的だった。

- ・ ヒウム (희움) 日本軍慰安婦歴史館／ヒウムは「希望を集めて花を咲かせる」の略語。2015年12月、「挺身隊ハルモニと共にする市民の会」(1997年12月結成)が中心となって韓国政府女性家族部、大邱広域市、同中区が協力して建設された。決して大きな建物ではないが、とても充実している。
- ・ 大邱旧嶺南YMCA会館／1914年、米国南長老教大邱宣教支会の宣教師ブレア(H.E. Blair)が建てた。「1915年、YMCAの会員を中心に嶺南キリスト教青年会が組織され、キリスト教民族運動の拠点空間として使われ、3.1運動当時の主要指導者たちの和合の空間だった。大邱旧嶺南YMCA会館は1910～1920年代の赤いレンガ建物の建築特徴をよく保管している。また、物産奨励運動、キリスト教農村運動、新幹会運動などキリスト教民族運動の拠点空間として大邱近代歴史の重要な現場と評価されている」(FWノートより) 私も神戸YMCAのメンバーだと紹介して、特別に担当執事からお話を聞くことができた。



大邱カトリック教会／朴正熙の書。書は、いいです



同じ大邱師範大学歴史館前の独立運動碑／キャンプ・ヘンリー／丹山貯水池

- ・ 桂山聖堂／カトリック大邱大教区の司教座聖堂。1886年12月頃、慶尚道で宣教していたアシル・ポール・ロベール(Achille Paul Robert)神父が1902年11月に完成させた聖堂。それ以前には1899年に韓式木造の聖堂があったが、1901年に火災で焼失した。「新しい聖堂の設計はロベール神父が直接行い、工事はソウル明洞聖堂の建築に参加した中国人技術者たちが引き受けたという」(FWノートより)
- ・ 大邱第1教会キリスト教歴史館／1933年、大邱第1教会の3番目の礼拝堂として建てられた2階建ての建物。1936年、更にゴシック様式の鐘塔が作られて現在の姿になった。
- ・ 大邱師範大学歴史館／「日帝強占期以降である1923年、慶尚北道議会の決議で慶尚北道公立師範学校が設立され、付属講堂が1925年に

建設された。その後、1929年に朝鮮総督府が地方の公立師範を官立に転換させ、慶尚北道公立師範学校も官立大邱師範学校に変更した。現在の大邱師範大学歴史館は1923年に設立された学校建物である」(FWノートより)

- ・ 丹山貯水池解顔水利組合記念碑／丹山貯水池1932年5月に竣工した。洛東江の支流・琴湖江に作られた周囲3.9km、流域面積6,088ha、総貯水量2,253,000 m³の貯水池で。水利組合の設立委員は朝鮮人13人、日本人5人で不在地主が多かったという。



鳳舞洞洞窟陣地／左から金慶南さん、堀内さん、飛田

- ・ 鳳舞洞日本軍洞窟陣地跡／大邱東村飛行場を防御するために20カ所あまりの洞窟陣地が作られた。いま12カ所が確認されている。一部には案内版も設置されている。内陸部に作られた洞窟であることが貴重である。付近の住民を強制動員して作れたといわれている。調査活動が継続している。金慶南さん、堀内さんと私で、陣地跡で記念写真をとった。
- ・ キャンプ・ヘンリー／現在米軍管理下にある。日本植民地時代に日本陸軍歩兵第80連隊があった。1921年陸軍大邱司令部が建設され、1936年から1942年まで朝鮮総督の統率を受けた。1944年には大邱軍師管区に編成されたが、永川、浦項、慶州、倭館、釜山など慶尚道一帯を統括していた軍事拠点であった。私たちはバスで正門まで行ったが、そこはすでに立ち入り禁止区域で、上手な運転手がみごとなユータウンをしてくれて脱出できた。

フィールドワークののち、また懇親会がひらかれ、おおいに食べて飲んだ。魚、ひとり1匹、すごかった。

★

実は、私は、前日から大邱に入っていた。15年ほど前、神戸大学に交換教員として来ていたキム・ボンジェさんが大邱の中学校に勤めている。大邱の旧市街を案内してくれ、大邱式さしみをごちそうしてくれた。イカに野菜が入った「フェ」だ。以前、初めて済州島に行ったとき、金慶海さんが、「済州島に行ったらチャリフェかセッキフェを食べなくちゃ」。チャリフェは石鯛に野菜が入ったフェ、セッキフェは豚の子袋だ。そのときはチャリフェだけをたべた。チャリフェは小骨を多くてもうひとつの食感だったが、大邱のそれはとてもよかった。サザエもいただいたが、おいし

い。写真を見たらわかるように、日本ならサザエが1、2個でてくるところが、10匹？もでてくる。殻は、ない。中身そのものだ。もったいないので、全部食べた。



ホテルは、大邱駅前のニューグランドホテル。今や

「ニュー」ではない。それなりの古さだ。

大邱については神戸の「あんそら」さんが、ステキなガイドブックを出している。非常に面白い本で、事前に十分な予習をした。



研究会当日、有志は、金慶南さんの案内で、慶北大学博物館を訪問した。大邱といえば、朴正熙が有名で、朴正熙も慶北大学につながる学校の卒業生だ。一方「人民革命党事件」で犠牲となった方の写真もあった。興味深い昔の地図など、一所懸命に写真を写したが、あとでステキな図録をいただいた。全部きれいに入っていた。

★

公式FWの翌日、私は堀内さんと国際報償運動記念館へ行った。研究会参加の吉澤文寿さんの推薦の博物館だ。



国際報償運動記念館／中央はボランティアガイドの朴貞順さん



歌手・飛田／金光石の壁画

大邱駅から猛暑のなか歩いて行った。見学ののち、受付の方といろいろとお話した。そして、その受付のかたが、隣の図書館に案内してくれた。そこに、朴貞順さんがいた。日本語ボランティアガイドをされている。月に3、4日しか来ないというのだが、その日がボランティア日だった。朴さんお話が本当によかった。感動した。コーヒーもごちそうになった。

他に豊臣秀吉の朝鮮侵略のとき、朝鮮側に投降した武将たちの「沙也加の里」でもボランティアをされているとのこと。いろんな日本人がきて、

沙也加がいかに偽物かを確認するために来て、ボランティアガイドを困らせる人もいる。彼女は、あくまで文献に残されていることだけを説明するという。

そして、「金光石通り」を訪ねた。それなりのおもしろい通りだった。キム・ミンギから歌唱力不足を指摘された際、「ビートルズも技術的には下手だ」と反論したと、ウイキにある。

ここで堀内さんと別れた。私は更にひとり、ぶらぶらした。私の飛行機は翌日だ。

★

地下鉄に乗り、宣教師住宅等のある「近代文化通り」を訪ねた。

その後歩いて西門市場へ。ソウル東大門市場負けないぐらい？大きな市場だった。



「トムセンガク」碑／宣教博物館／西門市場

東大邱にも行った。実は大邱は2回目で、1度目は、亀尾に行くとき、西大邱バスターミナルまで来て、乗り換えようとしたら、亀尾行きは東大邱バスターミナル発だとのこと。急いで移動した。まさに、大邱の街を通過しただけだった。

夜は、七星市場のタンゴル食堂。豚焼肉専門店。なかなかすごい食堂だった。どんどん焼いて、もってくる。

最終日、「ポンゲ市場」へ。同じホテルだった関東部会の橋本さんが、案内してくれ、前日に朝食を食べにいったところだ。こんな市場は大好きだ。韓国でも中国でも、そんな市場を探してよく行く。町の人が袋をさげて歩いてくるのが目印だ。

すでになくなっている大邱城郭のほんの一部の復元もみた。私は、城郭もすきで、ソウルの城郭をほとんど？登った。大邱も残っていたらいいのと思うが、それを壊したのは日本だった。仕方がない。



昼食、大邱駅あたりで、キムチチゲを食べた。よくはやっていた。おいしかった。

そして、大邱空港。リムジンバスがない。市街地と空港が近すぎるからか。タクシーにのった。1万ウオン。女性運転手だった。珍しいと思って聞いてみたら、100人にひとりもいないという。個人タクシーで、時間が自由にとれるので都合がいいとのこと。会社のタクシー運転手は労働条件が悪いとも。

充実した旅だった。研究会前後に大邱駅前に泊まったのも正解だった。市街地をウロウロできた。だいたい、ピストンの旅行は心身ともによくない。帰路の閑空はやはり？第1ターミナルだった。神戸も暑かった。